

平成 20 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社ヒガシトゥエンティワン
 代表者名 代表取締役社長 阿知羅 英夫
 (JASDAQ・コード9029)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 管理統括本部長 山田 佳夫
 電 話 06-6945-5611

平成 21 年 3 月期 第 2 四半期累計期間及び通期 (非連結)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 5 月 13 日付当社「平成 20 年 3 月期の決算短信 (非連結)」において発表いたしました平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) の第 2 四半期累計期間の業績及び通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期 (非連結) 業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	9,157	225	200	101	17 円 67 銭
今 回 発 表 予 想 (B)	9,181	287	270	138	24 円 12 銭
増 減 額 (B - A)	24	62	70	37	—
増 減 率 (%)	0.3	27.6	35.0	36.6	—
(御参考) 前第 2 四半期累計 期間実績 (平成 20 年 3 月期)	8,773	201	189	204	35 円 57 銭

(2) 通期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	19,000	650	600	316	54 円 97 銭
今 回 発 表 予 想 (B)	19,000	650	610	316	54 円 97 銭
増 減 額 (B - A)	0	0	10	0	—
増 減 率 (%)	0.0	0.0	1.7	0.0	—
(御参考) 前 期 実 績 (平成 20 年 3 月期)	18,584	559	537	385	67 円 02 銭

2. 修正の理由について

(1) 第2四半期累計期間の業績予想について

売上高につきましては、中国向け高速鉄道の長尺型材の輸配送業務が好調に推移し、事務所移転業務の受注も順調に推移しております。前期に新設した4倉庫の倉庫内作業等の業務が第1四半期において想定以上に増加しておりますが、第2四半期は季節的要因による売上減もあり、前回予想から24百万円増加の91億81百万円となる見込であります。

営業利益は売上高の増加及び原価削減努力並びに販売費及び一般管理費等の削減により、前回予想から62百万円増加の2億87百万円を見込んでおります。上記の要因により経常利益は前回予想から70百万円増加の2億70百万円、当期純利益は前回予想から37百万円増加の1億38百万円となる見込であります。

(2) 通期の業績予想について

売上高は運送事業について、中国向け高速鉄道の長尺型材の輸配送業務が通期で順調に推移することを予定しておりますが、倉庫事業については、上期の収益に貢献した一部の倉庫内スポット作業が収束することに加え、日本経済の景気の先行きに不透明感が強くなってきております。

通期の業績に大きな割合を占める事務所移転・引越業務の受注への影響度が不透明なため、下半期の当社業績に影響を及ぼす可能性を考慮し、前回予想額の190億円となる見込であります。

営業利益は一層のコスト削減に努め、前回予想額の6億50百万円を見込んでおります。経常利益は精査の結果、営業外損益の好転により前回予想から10百万円増加の6億10百万円、当期純利益は前回予想額の3億16百万円を見込んでおります。

なお、期末配当につきましては、当初の予定どおり1株につき15円の配当を予定しております。

※上記に記載した業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上